

## 参院議員選挙 争点

### 選挙などの日程

参院議員選挙公示
6/22(水)
参院議員選挙投開票
7/10(日)
期日前投票期間
6/23(木)～7/9(土)

読売新聞社は10日投開票の参院選に合わせ、立候補者対象のアンケート調査を実施した。

### 各党候補が挙げた争点

	1位	2位
自民	景気(83)	地方(50)
民進	景気(65)	社保(56)
公明	景気(92)	子育て(63)
共産	景気(73)	憲法(70)
お維新	行革(59)	教育(59)
社民	憲法(91)	エネ(73)
生活	社保(60)	エネ(60)
こころ	景気(93)	消費税(60)
改革	景気(100)	エネ(83)

景気=景気・雇用対策、地方=地方の活性化、社保=年金・医療など社会保障改革、子育て=待機児童対策など子育て支援、憲法=憲法改正、行革=行政改革、教育=教育改革、エネ=原子力発電などエネルギー政策

※複数回答、数字は%。参院選の争点として、候補者が17の選択肢から優先順位順に三つまで選んだ

争点(複数回答)として、「景気・雇用対策」を挙げた候補者が63%と最も多く、次いで「憲法改正」、「年金・医療など社会保障改革」などの順だった。

調査は公示前の6月6日から主な候補者を対象に実施した。回収率は87%。

参院選の争点では、自民、民進、公明、共産など6党で「景気・雇用対策」が1位になった。

「憲法改正」は、民進党で42%、共産党で70%に上るなど野党では上位を占めたが、自民、公明両党ではごくわずかだった。「改憲反対」を共闘の旗印とする野党が争点化を図る一方、与党は争点として位置づけず、すれ違いが生じている構図だ。

消費税率10%への引き上げ延期については、自民、公明両党の9割以上が賛成し、ほとんどの野党でも賛成が多数を占めた。

ただ、社会保障費や財政赤字に対応するため、どう財源を確保するかについては意見が割れた。自民党では「景気回復による税収増で賄う」が73%を占めたのに対し、公明党は38%にとどまった。民進党は「所得税や法人税など消費税以外の増税」が31%と最も多く、共産党も89%だった。

消費増税と同時に、食品などの税率を低くする軽減税率の導入については、自公両党で賛成が多数だったが、参院選公約で「給付付き税額控除」を掲げる民進党は96%が反対した。

憲法改正では、「改正する方が良い」とした候補は自民党で95%、公明党は96%に上った。

民進党は54%が「改正しない方が良い」だったが、改憲派も35%いた。民進党など野党は、国会発議に必要な改憲勢力の「3分の2(162)」の獲得阻止を掲げるが、党内にも改憲に前向きな候補者がいる複雑な事情がうかがえる。

2016年07月02日 09時47分 Copyright © The Yomiuri Shimbun

## 選挙ドットコム編集部 マニフェスト・政策比較

政党名	ロゴ	党首	参議院 議席数	参院選キャッチコピー
自民党		安倍晋三	116	この道を。力強く、前へ。
民進党		岡田克也	64	人から始まる経済再生。
公明党		山口那津男	20	希望が、ゆきわたる国へ。
共産党		志位和夫	11	力あわせ、未来ひらく
おおさか 維新の会		松井一郎	8	古い政治を壊す。 新しい政治を創る。
社民党		吉田忠智	3	アベ政治の暴走を止める
生活の党と山本太郎 となかまたち		小沢一郎 山本太郎	3	生活が第一。
日本のことを 大切に作る党		中山恭子	3	-
新党改革		荒井広幸	1	豊かな社会へ 「改革」という選択
幸福実現党		積量子	0	愛しているから、 黙ってられない
国民怒りの声		小林節	0	-

>> [全政党の政策比較まとめ!](#)

>> [政策比較「アベノミクス評価」](#)

>> [政策比較「憲法改正について」](#)

>> 政策比較「安保法制について」

>> 政策比較「原発政策」

>> 政策比較「子育て政策」

>> 政策比較「TPP」

>> 政策比較「消費税増税」

>> 政策比較「若者政策」